

地域女性活躍推進交付金事業実施計画書(都道府県分)

都道府県名:三重県

1. 事業名	みえの女性活躍推進事業			
2. 実施期間	交付決定日 ~ 平成31年3月31日			
3. 事業の趣旨・目的	<p>県内の女性活躍を推進するためには、女性が働き続け活躍するための職場環境づくりが欠かせないのはもちろんのこと、経営者や男性の意識改革や、女性自らの意識の向上が欠かせない。</p> <p>そのため、本事業では、経営者や男性管理職の意識改革につながるフォーラムや、さまざまな職業分野において活躍する女性人材のロールモデルを創出するアワードの開催に加え、創出したロールモデルの取組を広く県内へ浸透させることで、本県における女性が活躍できる職場環境づくりのさらなる推進を目指す。</p> <p>また、県内企業において女性が希望に応じて、いきいきと働くことができるよう、女性の意識醸成をサポートし、女性の就労を支援することで、地域社会・経済の活性化につなげる。</p>			
4. 事業目標・重要業績評価指標(KPI)(全体)	①平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標	<p>目標・KPI</p> <p>あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいると感じる県民の割合(アウトカム)</p>	<p>目標値(時点)</p> <p>49.40% (32年度時点)</p>	<p>現状値(時点)</p> <p>39.90% (28年度)</p>
	②平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の重要業績評価指標(KPI)(※KPIは目標達成への事業進捗の測定指標)	<p>女性活躍推進法に規定する事業主行動計画等の策定累計団体数(アウトカム)</p>	/	<p>485団体 (30年1月末時点)</p>
	③事業目標(全体)	<p>①女性活躍のロールモデルの創出(アウトプット)</p> <p>②女性の活躍推進三重県会議の自主取組宣言数(アウトカム)</p> <p>③女性のためのキャリアアップセミナー等参加者の満足度(参加者アンケートにおいて「大変満足」、「満足」と回答した人の割合)(アウトプット)</p> <p>④学生に対するライフプラン・キャリア形成講座を行う大学・短大数(アウトプット)</p>		<p>①30人 (30年度)</p> <p>②140件 (30年度)</p> <p>③80.0%以上 (30年度)</p> <p>④10校 (31年度)</p>
	④事業KPI(全体)	<p>①女性の活躍推進三重県会議の会員数(アウトカム)</p> <p>②女性が長く働ける環境づくりに取り組む意向を持つ企業の割合(アウトカム)</p>	/	<p>①379団体 (30年1月末時点)</p> <p>②89.0% (29年3月時点)</p>
	⑤市町村の取組状況に関する目標	<p>女性活躍推進法に規定する市・町における推進計画の策定率(アウトカム)</p>		<p>市 100% (32年度時点)</p> <p>町 70%</p>
	⑥市町村の取組状況に関するKPI	<p>市町の審議会等における女性委員の割合(アウトカム)</p>	/	<p>26.70% (29年度時点)</p>
	5. 事業内容	<p>上記4の地域の実情と課題を踏まえ、県内における女性活躍のさらなる推進を図るため、次の事業を実施する。</p> <p>①みえの輝くロールモデル創出事業 さまざまな職業分野において活躍する女性人材の掘り起こしを行い、ロールモデルを創出するアワード事業を展開するとともに、創出したロールモデルの取組を効果的に情報発信し、広く県内への浸透に取り組む。</p> <p>②みえの輝く女子プロジェクト事業 女性活躍推進の気運醸成をより一層図るため、「女性の活躍推進三重県会議」への加入促進に引き続き取り組むとともに、国や大学、地域経済団体等で構成する連絡会議(女性活躍推進法に基づく協議会)や企画委員会を開催する。あわせて、経営者や管理者層をターゲットに、男性の意識改革等につながるフォーラムを開催する。また、会員のさらなる取組意欲の向上と新規加入の促進につなげるため会員証の作成・交付を行う。 なお、連絡会議や企画委員会には、本申請事業の企画段階から参画いただき、事業実施後の検証やフィードバックを行っていただくとともに、翌年度以降の事業への反映について協議いただく。</p> <p>③女性の就労支援事業 不本意非正規で働く女性等に対し、再就職やキャリアアップに結び付く実践的なセミナーを実施するとともに、自身と同じ立場の人や話を聞いてくれる人とつながる場、自身のキャリア形成について考える機会を提供し、希望に応じた形の就労を支援することで、潜在労働力の掘り起こしや生産性の向上を図る。</p> <p>④女性の就労継続支援事業 学生に対し、就職活動に際して自身のライフイベントにおいて考慮すべきことや、自身の将来のキャリアをデザインすることを考えていただく機会を提供し、女性の就労継続に関する意識啓発を図る。</p> <p>上記事業は、様式2-1-1のとおり、県庁内他部局や連絡会議構成団体等と連携、補完しあいながら実施する事業スキームとなっている。</p>		

6. 事業の実施により期待される効果	<p>女性が活躍するためには、企業や団体のトップや管理者層の多くを占める男性の意識改革をはじめ、女性が活躍できる職場環境づくりや働く女性自身の職業への関わり方に対するモチベーション向上などが必要であり、これらが総合的に進展することで、相乗的にあらゆる分野における女性の活躍・参画が推進される。</p> <p>また、女性の就労を促進することは、減少する労働力人口を補う効果にとどまらず、新しい発想により様々な分野で経済を活性化させる力となることが期待されている。特に不本意非正規の解消や女性の視点・能力を活かすことは、新たな経営効果を生み、地域社会・経済の活性化につながる。</p> <p>また、名古屋学院大学杉浦礼子准教授によると、入学前は専業主婦志向が強かった学生にキャリアデザインに関する講義を実施することで、就労継続を希望する割合が増え、「働くこと」に対する意識が高まったことが明らかになっている。このようなことから、特に就労前の学生に対する就労継続に向けたライブラン・キャリア形成支援を行うことにより、子育て期等においても多くの女性が家庭と仕事を両立しながら就労を継続することが期待できる。</p>
--------------------	---